

Windows 操作支援・音声ガイドシステム

PC-Talker

ScreenReader

マニュアル

new
AOK
system

PC-Talker 7 Ver3

PC-Talker 8 Ver2

目次

PC-Talker をインストールして、Windows を終了するまでの手順と、
付属ソフトの説明をします。

インストール	2
PC-Talker のインストール方法を説明します。	
起動から終了まで	4
PC-Talker の起動方法と終了を説明します。	
PC-Talker のメニュー	5
PC-Talker のメニューについて説明します。	
AOKMenu	16
AOKMenuについて説明します。	
音声時計	19
音声時計について説明します。	
音声電卓	21
音声電卓について説明します。	
MySupport	22
当社からのお知らせの確認や、オンラインマニュアルを確認します。	
PC-Talker コマンド一覧	26
PC-Talker の、コマンド一覧表です。	

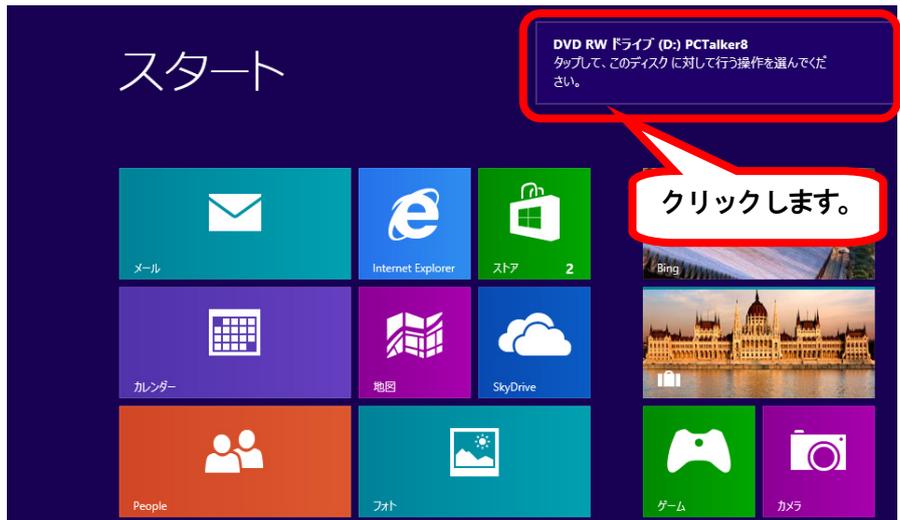
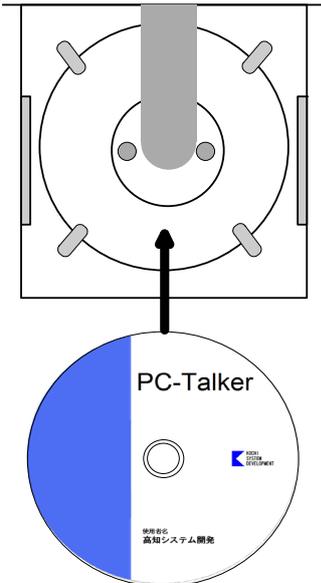
※ 本書は、PC-Talker 7 Ver3、PC-Talker 8 の共通のマニュアルです。
本書使用のダイアログ等の画像は、PC-Talker 8 から取り込んだ物です。

インストール

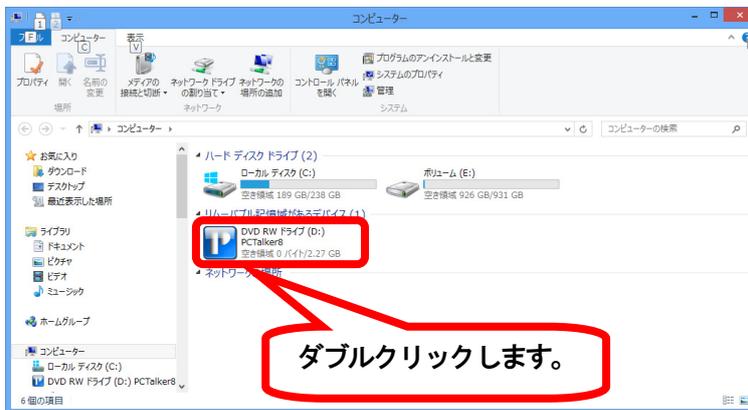
本書では、PC-Talker のインストール方法について、ご説明いたします。

PC-Talker インストール

- ① パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。
- ② PC-Talker の DVD-ROM をドライブに挿入します。※ PC-Talker 7 は、作業、⑤へ (P.3)
- ③ 「通知バー」が表示されます。※注意：5秒間で消えてしまいます。

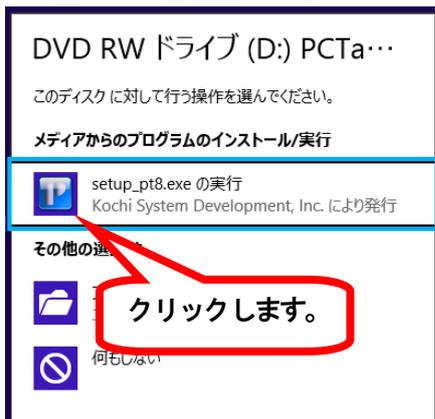


通知バーが消えてしまった時は、Windows キーとEを、押してエクスプローラーを起動します。

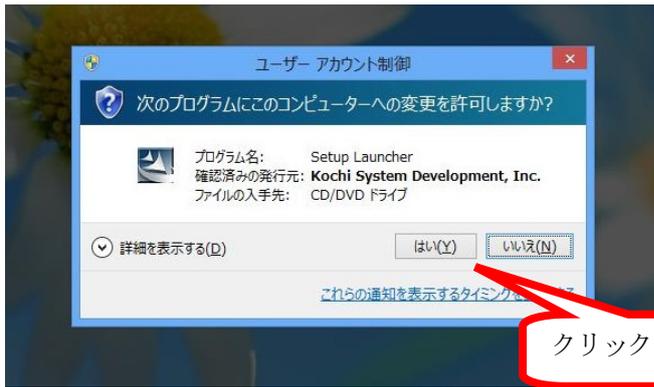


作業、⑤へ (P.3)

- ④ 「Setup_8.exe の実行」にマウスカーソルを合わせ、左クリックします。



- ⑤ 画面が暗くなり警告音が鳴り、「ユーザーアカウント制御」のダイアログが出ます。

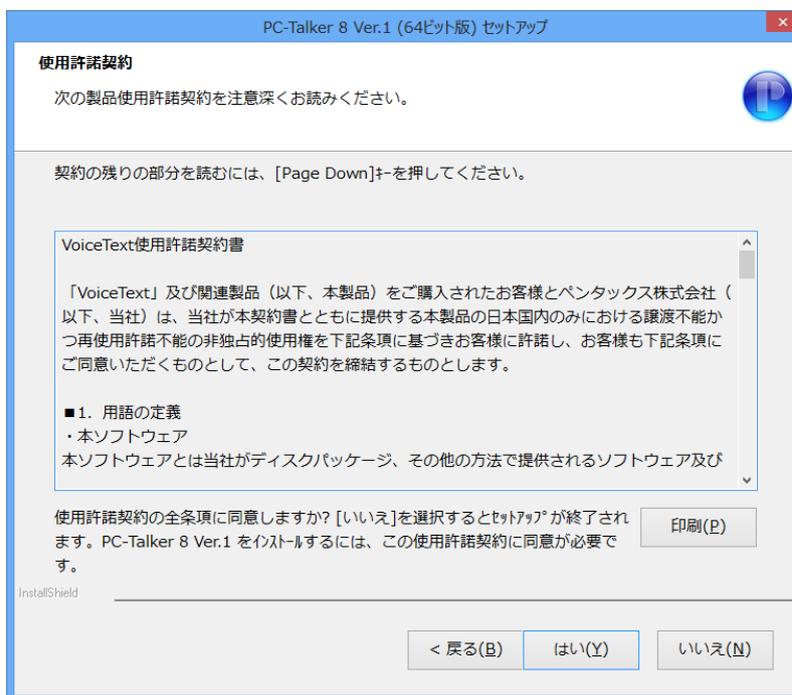


「はい (Y)」にマウスカーソルを合わせ、左クリックします。

または、**Alt** + **Y**

クリックします。

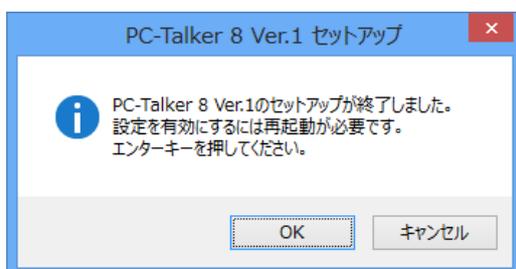
- ⑥ 使用許諾書を確認します。内容に同意する場合は「はい(Y)」で、**Enter**を押します。



同意しない場合は、「いいえ(N)」で、**Enter** または、**ESC** キーでセットアップを中止します。

※インストールには、数分かかります。電源を切ったり、他のアプリケーションを起動したりしないでください。

- ⑦ インストール終了のメッセージが出ます。「OK」で、**Enter** を押し、**Windows** を再起動します。



Windows の再起動後に、**PC-Talker** が組み込まれ、以降使用可能になります。

起動から終了まで

PC-Talker (KTOS) の起動方法から終了方法までを説明します。

起動方法

基本的な起動方法

PC-Talker の起動は、パソコンの電源を入れると Windows と共に自動的に起動します。

特殊な起動方法

PC-Talker (KTOS) を、Windows の自動起動から外している場合の起動方法

① ショートカットキーで、PC-Talker を起動します。

Ctrl + **Shift** + **F3**

② ショートカットキーで、KTOS を起動します。※1

Ctrl + **Alt** + **Shift** + **F6** KTOS

終了方法

基本的な終了方法

PC-Talker (KTOS) は、Windows の終了と共に終了します。

スタートメニューから、シャットダウンを選択し **⇩** キーを押すと終了します。

特殊な終了方法

Windows は終了せずに、PC-Talker (KTOS) を終了します。

① KTOS の終了方法は、ショートカットキーで行います。

Ctrl + **Alt** + **Shift** + **F7**

② PC-Talker の終了方法は、ショートカットキーで行います。

Ctrl + **Alt** + **F3**

※1 : KTOS を初めて利用される場合は、点字ドライバが組み込まれていないため組み込みかを聞いてきます。

PC-Talker のメニュー

PC-Talker のメニューについて説明します。

メニューの起動



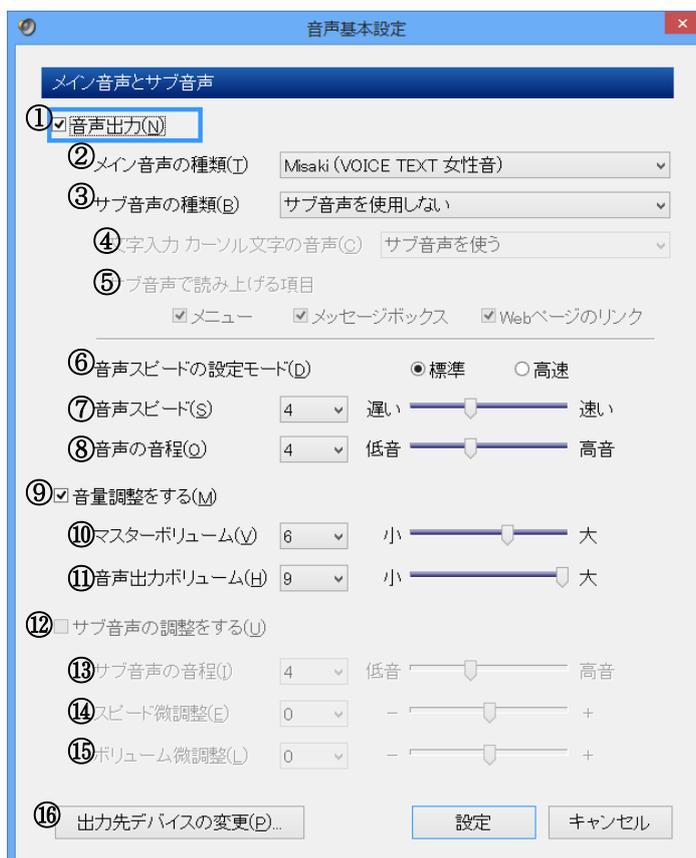
フルキー

Ctrl + **Alt** + **F・12**

点字キー

321 + **SP**

音声基本設定



- ① **音声出力**
PC-Talker の音声を出力するか、停止するか設定します。
- ② **音声の種類**
音声エンジンの種類を選択します。
- ③ **サブ音声の種類**
サブ音声エンジンの種類を選択します。
- ④ **文字入力 カーソル文字の音声**
文字入力やカーソル移動時に使用する音声を選択します。
- ⑤ **サブ音声で読み上げる項目**
サブ音声エンジンで読み上げる項目を設定します。
- ⑥ **音声スピードの設定モード**
音声スピードを**標準モード**、**高速モード**に設定します。
- ⑦ **音声スピード**
音声スピードを1から9の範囲で設定します。

⑧ 音声の音程

音声の音程を1から9の範囲で設定します。

音程を極端に低くしたり高くすると、「カタカナ、ひらがな」などの区別が、解りづらくなります。

⑨ 音量調整をする

音量調整を**手動**にするか、**自動**であるかを設定します。

チェックをすると、パソコン本体内部に**スピーカー**がある機種で**ボリュームのつまみ**が無く、**Windows**内のボリュームコントロールから音量調整を行う機種の時に有効に利用できます。

⑩ マスターボリューム

パソコン本体の**メインボリューム**を9段階の音量レベルから設定します。

※ **Windows** 既定のサウンドデバイスの音量を変更しますので、メディアプレーヤなど他のソフトウェアの音量も増減します。

⑪ 音声出力ボリューム

PC-Talker のボリュームを9段階の音量レベルから設定します。

※ **PC-Talker** が出力する音声の音量を変更しますので、他のソフトウェアの音量へは影響しません。

⑫ サブ音声の調整をする

メイン音声とサブ音声の音程、スピード、ボリュームの調整を行うか行わないか設定します。

⑬ サブ音声の音程

サブ音声の音程の調整を行います。

⑭ スピード微調整

サブ音声のスピードの微調整を行います。

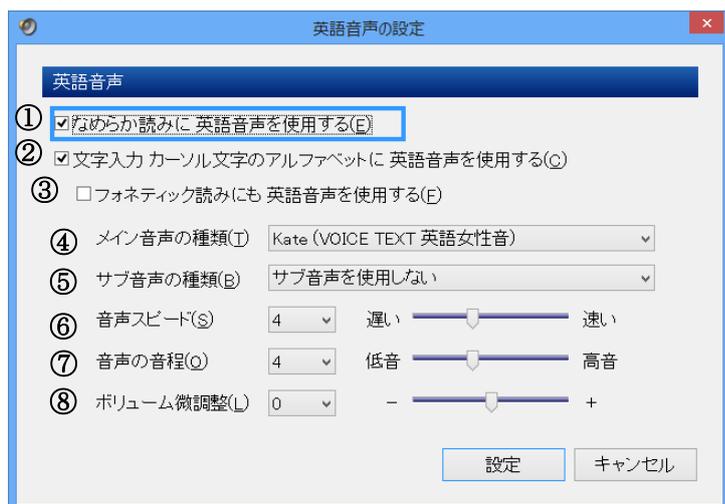
⑮ ボリューム微調整

サブ音声のボリューム微調整を行います。

⑯ 出力先デバイスの変更

複数のスピーカーが接続されているパソコン環境において、**PC-Talker** の音声を別のスピーカーから出力させることができます。

英語音声の設定



- ① なめらか読み時に、英語エンジンを使用する設定を行います。
- ② 文字入力時、カーソル移動時の、アルファベットに対して、英語エンジンを使用する設定を行います。
- ③ フォネティック読みにも英語音声を使用するチェック有り、アルファベットのフォネティック読みにも英語音声を使用する設定します。
- ④ 英語音声エンジンの種類を選択します。
- ⑤ サブ音声の種類を選択します。
- ⑥ 英語音声エンジンのスピードを設定します。
- ⑦ 英語音声エンジンの音程を設定します。
- ⑧ ボリューム微調整を設定します。

読書音声の設定

メイン音声やサブ音声とは別の音声の種類、音声スピード、音程を設定しておくことができます。小説の読み上げなど、落ち着いた音声でゆっくりと聴きたい読書向けの設定です。



- ① **読書音声の種類**を選択します。
- ② **音声スピードの設定モード**
読書音声の音声スピードを**標準モード**、**高速モード**に設定します。
- ③ **読書音声のスピード**を設定します。
- ④ **読書音声の音程**を設定します。
- ⑤ **読書ボリューム微調整**を設定します。

⑥ 読書読みの読み方

読書向けに最適化

読書向けの次の読み方で読み上げます。

句点 括弧は読まない。

記号は読まない。

数字は位取りして読む。

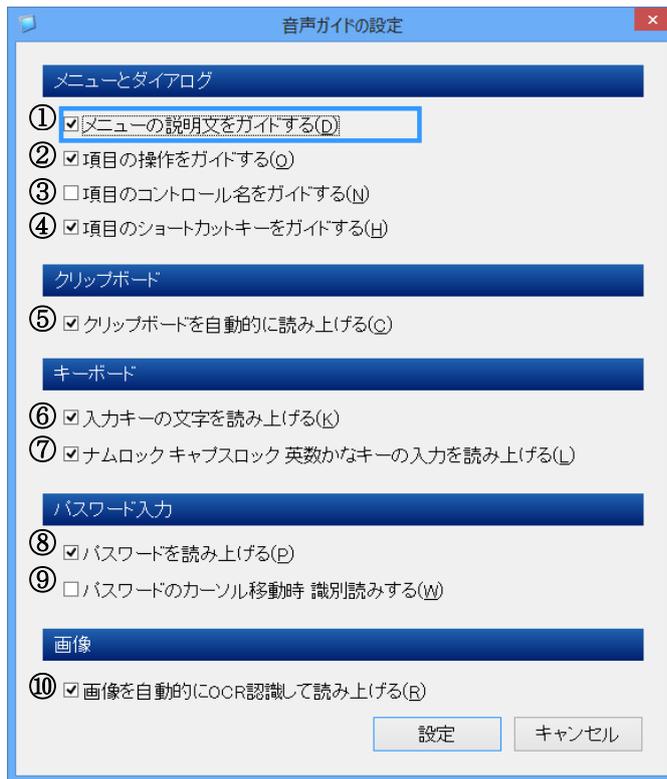
改行は息継ぎする。

英語読みで読む。

なめらか読みの設定読み

現在のなめらか読みの読み方に従い読み上げます。

音声ガイドの設定

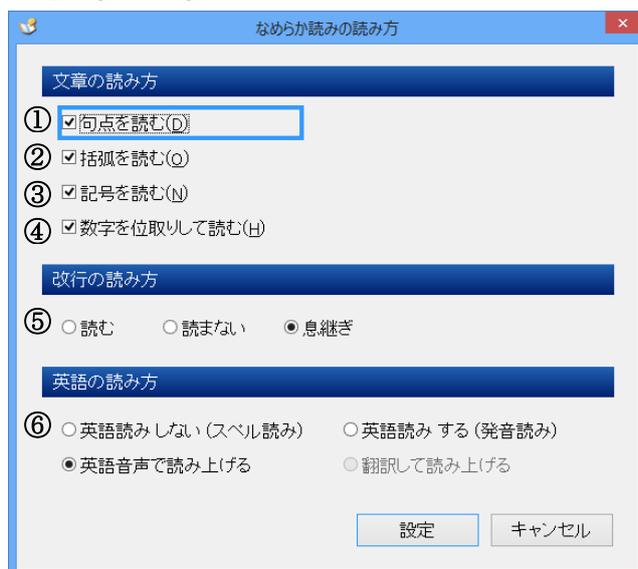


- ① **メニューの説明文をガイドする**
どのような操作をすれば良いかを説明します。
- ② **項目の操作をガイドする**
項目の操作をガイドします。
例：・・・の文字入力
- ③ **項目のコントロール名をガイドする**
コントロール名を読み上げます。
例：・・・のプッシュボタン
- ④ **項目のショートカットキーをガイドする**
メニュー項目に該当する、ショートカットキーを読み上げます。
- ⑤ **クリップボードを自動的に読み上げる**
クリップボードが変更されたときに自動的に読み上げます。
- ⑥ **入力キーの読み上げ**
キーボードから入力した文字を読ませたくないときに、チェックを外します。

※ PC-Talker 起動時は、必ずチェックが入ります

- ⑦ **ナムロック キャップスロック 英数かなキーの読み上げ**
各ロックのオンオフを、ガイドするかを設定します。
- ⑧ **パスワードを読み上げる**
パスワードを、ガイドするか設定します
- ⑨ **パスワードのカーソル移動時 識別読みする**
パスワードのカーソル移動時に、識別読みすることによって、文字の確認ができます。
- ⑩ **画像を自動的に OCR 認識して読み上げる**
Web ページの画像に移動すると自動的に OCR 認識して読み上げます。

なめらか読みの読み方



① 句点を読む

句読点を読むか読まないかを設定します。

② 括弧を読む

括弧類を読むか読まないかを設定します。

③ 記号を読む

記号類を読むか読まないかを設定します。

④ 位取りをして読む

数字を位取りして読むか読まないかを設定します。

⑤ 改行の読み方

読み上げ時、改行を『読む』は「かいぎょう」と読み上げます。

『読まない』は、改行を無視して上の行と下の行を続けて読みます。

『息継ぎ』は、改行の部分で少し間隔を置いて下の行を読みます。

⑥ 英語の読み方

英語読み しない……………英単語を1文字 1文字ずつ読みます。スペルチェックに有効です。

英語読み する……………英語の発音で読みます。

英語音声で読み上げる……英語音声で読みます。(選択できないときがあります)

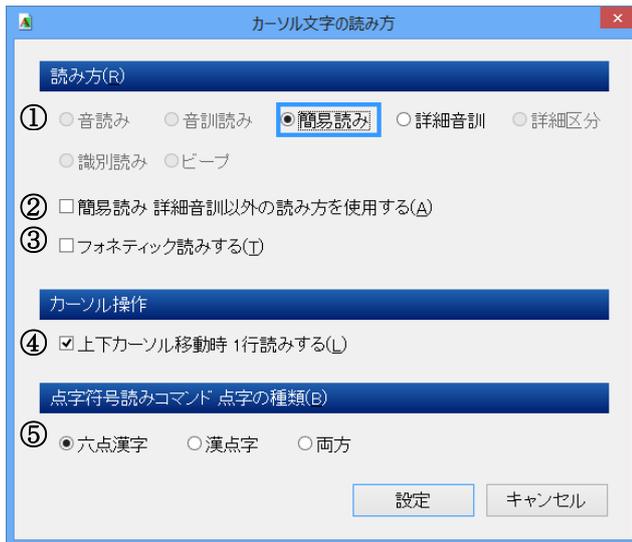
※英語音声の設定で[なめらか読みに 英語音声を使用する]がチェックされている場合に選択できます

翻訳して読み上げる……英語を日本語に翻訳して読みます。(選択できないときがあります)

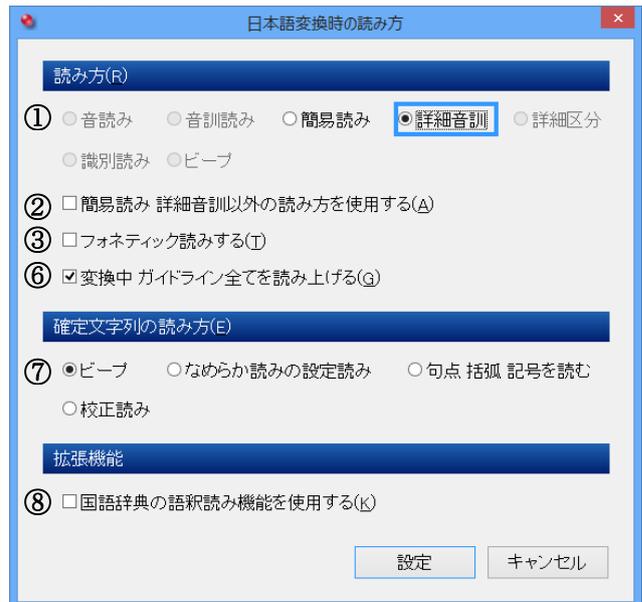
※「IBM 翻訳の王様」がインストールされている環境で選択できます。

IBM 翻訳の王様は、Windows XP 対応のソフトウェアですが、現在は販売されておられません。

カーソル文字の読み方



日本語変換時の読み方



① 読み方

カーソルを移動したときや文字を入力したときの読み方を設定します

音読み …………… 音読みで読み上げます。

音訓読み …………… 音と訓で表現した読み方です。※六点漢字

簡易読み …………… 簡単に易しい説明で読み上げます。

詳細音訓 …………… 簡易読みよりも詳しく読み上げます。

詳細区分 …………… 詳細音訓に、漢字の区分を加えた読み方です。

識別読み …………… 文字種(全角・半角、ひらがな・カタカナ)と詳細音訓で読み上げます。

ビーブ …………… 簡単な電子音を出力します。

② 簡易読み 詳細音訓以外の読み方を使用する

チェックありで、全ての「読み方」を、設定できます。

チェックなしで、「簡易読み」「詳細音訓」の二つの読み方を切り替えます。

③ フォネティック読みする

チェックありで、漢字や記号以外の文字を詳しく読み上げます。

④ 上下カーソル移動時、1行読みする

上下矢印キーを押して、カーソルが上下したときに、カーソル位置から行末までを読み上げます。

⑤ 点文字読みコマンド 点字の種類

点文字読みコマンド実行時に読ます方法を設定します。

⑥ 変換中ガイドライン全てを読み上げる

日本語変換時、注目文節のみを読み上げるか、ガイドライン全てを読み上げるかを設定します。

⑦ 確定時の読み方

変換候補を確定したときの読み上げ方を設定します。

ビーブ …………… 簡単な電子音を出力します。

なめらか読みの設定読み ……… 確定した文字を、なめらか読み設定と同じ読み上げをします。

句点 括弧 記号を読む ……… 確定した文字を、句点、括弧、記号を含めすべて読み上げます。

校正読み …………… 確定した文字列を、校正読みで読み上げます。

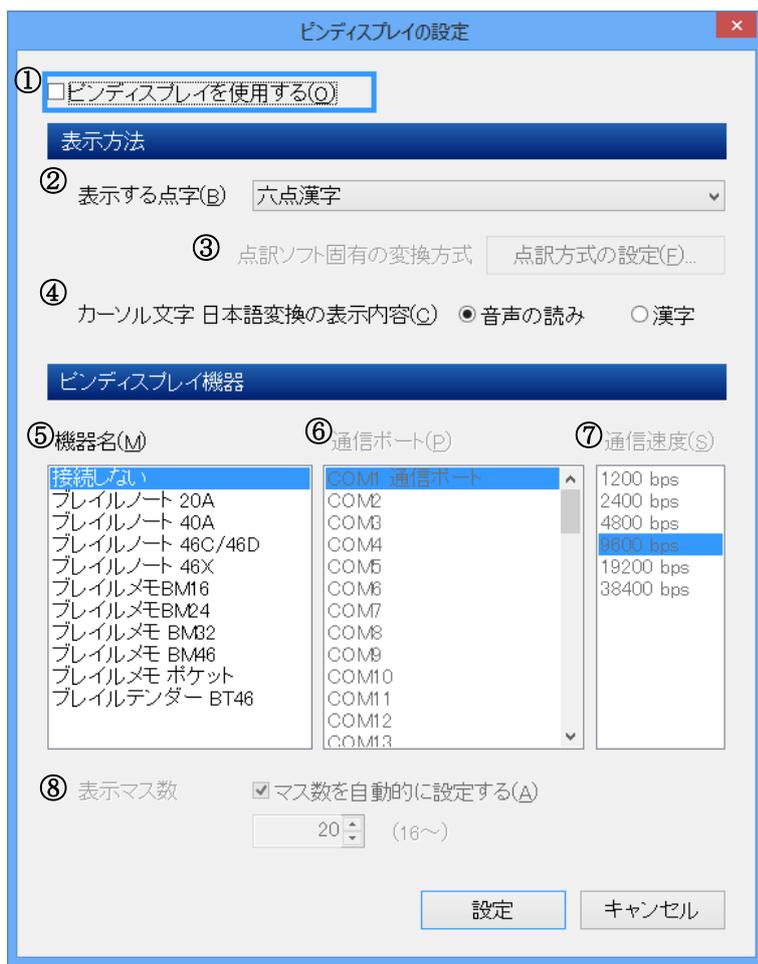
⑧ 国語辞典の語釈読み機能を使用する

日本語変換の同音異義語などで迷ったときに、国語辞典を検索して、素早く読み上げるようになります。

国語辞典読み 先頭一致検索 Ctrl + Alt + H

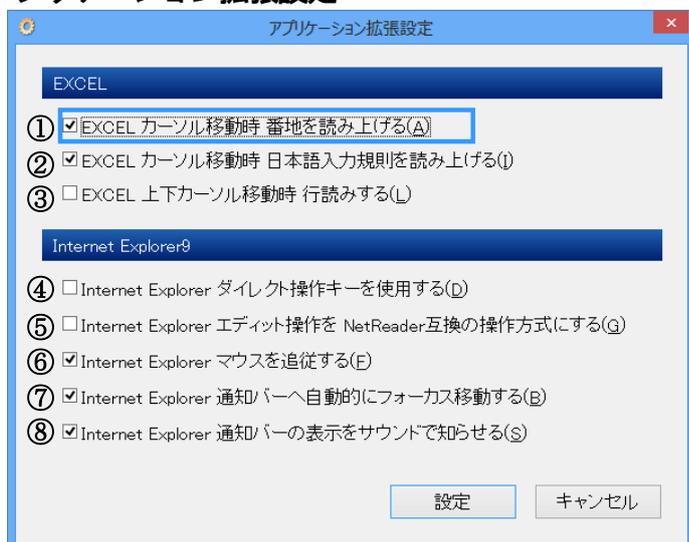
国語辞典読み 完全一致検索 Ctrl + Alt + J

ピンディスプレイの設定



- ① **ピンディスプレイを使用する**
ピンディスプレイを使用するかしないか設定をします。
- ② **表示する点字**
ピンディスプレイに、表示する点字方式を設定します。
- ③ **点訳方式の設定**
1 級英語点字などの点訳方式を指定します。(エクストラ点訳データ選択時)
- ④ **カーソル文字 日本語変換時の表示**
表示するデータを、音声と同じ形式か、六点漢字または漢点字かを設定します。
- ⑤ **機器名の設定**
接続機器名を選択します。
- ⑥ **通信ポート**
接続ポートを選択します。
- ⑦ **通信速度**
通信速度を選択します。
- ⑧ **表示マス数**
表示マス数を、指定します。
通常、接続機器に合わせて、自動的に設定されます。

アプリケーション拡張設定



- ① **Excel カーソル移動時 番地を読み上げる**
Microsoft Excel で、カーソル移動時に番地を読むか、読まないかを設定します。
- ② **Excel カーソル移動時 日本語入力規則を読み上げる**
EXCEL 操作中、カーソル移動時にそのセルに設定されている日本語入力の規則を読み上げるかを設定します。
- ③ **Excel 上下カーソル移動時 行読みする**
Microsoft Excel で、上下カーソル移動時に、1 行読みを行う設定をします。

④ Internet Explorer ダイレクト操作キーを使用する

Internet Explorer で、仮想カーソルの移動を、**Ctrl** キーとの組み合わせでなく、直接上下キーを利用する設定をします。

⑤ Internet Explorer エディット操作を NetReader 互換の操作方式にする

Web ページ内のエディットボックスへフォーカス移動したとき、誤入力を防止するために **NetReader** 互換の操作方式を使用するモードです。

⑥ Internet Explorer マウスを追従する

Web ページ内のリンク項目や、ボタン、エディットボックスなどマウスクリックの動作が有効な項目へカーソル移動したとき、その項目上にマウスポインタを移動させます。

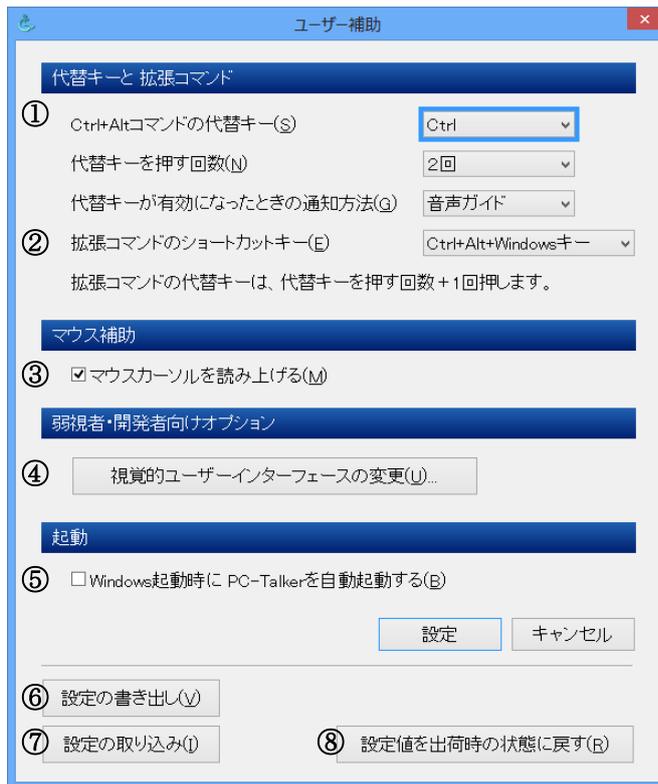
⑦ Internet Explorer 通知バーへ自動的にフォーカス移動する

チェックあり、通知バーが表示されると、自動的に通知バーの操作へとフォーカス移動します。
チェックなし、フォーカス移動の制御をしません。

⑧ Internet Explorer 通知バーの表示をサウンドで知らせる

チェックあり、通知バーが表示されたときに効果音を鳴らします。
チェックなし、効果音を鳴らしません。

ユーザー補助



① 代替キー

Ctrl + Alt の代替キーを設定します。

Ctrl または、Shift を代替キーとして使うか、代替キーを使用しないかを設定します。代替キーを使用する場合、キーを続けて押す回数を 1 回、2 回、3 回のいずれかで、設定します。代替キーが有効になったときの通知方法を、音声ガイドか、ピープ音に設定します。

② 拡張コマンドのショートカットキー

Ctrl + Alt + Windows キーを、使用する拡張コマンドの代替キーを設定します。

③ マウス補助

マウスカーソル移動時にマウスカーソル位置の情報をガイドします。

④ 視覚的ユーザーインターフェイスの変更

※1 参照

⑤ Windows 起動時に PC-Talker を自動起動する

Windows が起動したと同時に PC-Talker も起動させるかを設定します。

⑥ 設定の書き出し

現在の PC-Talker の設定値をファイルに書き出して保存します。ファイル名の拡張子は、「. prof」固定です。保存したファイルは、設定の取り込みを実行して、設定値を復元することができます。

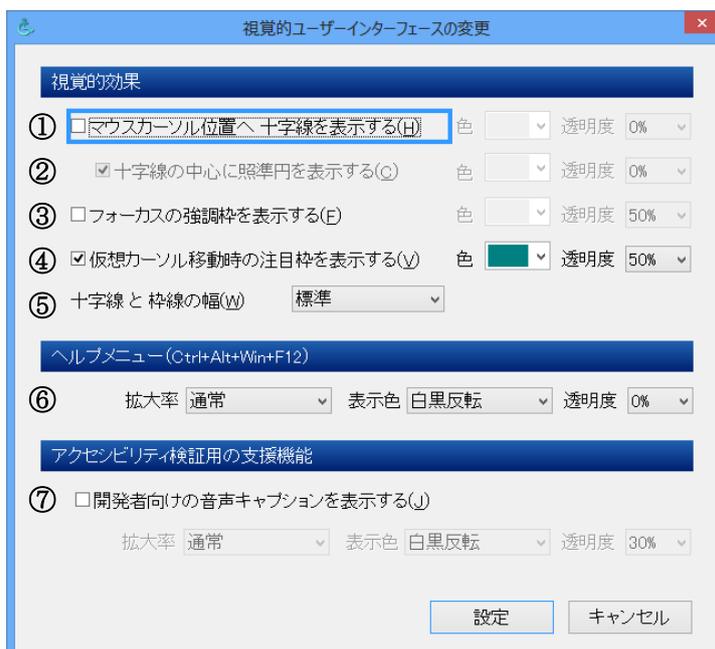
⑦ 設定の取り込み

ファイルに保存されている設定値の状態に復元します。

⑧ 設定値を出荷時の状態に戻す

PC-Talker を初めてインストールした直後の設定状態に戻します。

※1 視覚的ユーザーインターフェイスの変更



① **マウスカーソル位置へ 十字線を表示する**

マウスカーソルを見失わないよう、マウスカーソル位置で交差する十字線を表示します。

十字線の色

十字線の表示色を選択します。

十字線の透明度

十字線の透明度を **0%** から **90%** の中から選択します。

透明度が大きくなるほど十字線の色は薄くなりますが、その下の画面が鮮明に見えてきます。

② **十字線の中心に照準円を表示する**

十字線の交差する位置を更に目立つように、円を表示するかしないかを設定します。

照準円を表示する場合は、**照準円の色**、**照準円の透明度**を、設定できます。

③ **フォーカスの強調枠を表示する**

フォーカスのあるウィンドウやコントロールを囲む強調枠を表示するかしないかを設定します。

フォーカスの強調枠を表示する場合は、**強調枠の色**、**強調枠の透明度**を、設定できます。

④ **仮想カーソル移動時の注目枠を表示する**

仮想カーソル位置の文節や段落を囲む注目枠を表示するかしないかを設定します。

仮想カーソル移動時の注目枠を表示する場合は、**注目枠の色**、**注目枠の透明度**を、設定できます。

⑤ **十字線 と 枠線の幅**

十字線および、強調枠、注目枠の線の太さを **〈標準〉** **〈やや太い〉** **〈太い〉** の中から選択します。

⑥ **ヘルプメニューの視覚的効果**

Ctrl+Alt+Win+F12 で実行する **PC-Talker** のコマンドヘルプの表示形式に関する項目です。

ヘルプメニューの拡大率

ヘルプメニューの文字拡大率を選択します。

ヘルプメニューの表示色

ヘルプメニューの表示色を選択します。

ヘルプメニューの透明度

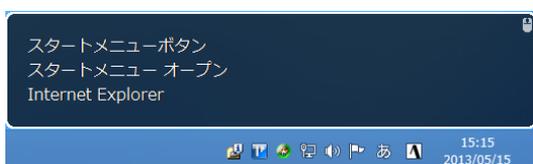
ヘルプメニューの透明度を **0%** から **90%** の中から選択します。

⑦ **アクセシビリティ検証用の支援機能**

開発者向けの音声キャプションを表示する

映画の字幕表示のように、**PC-Talker** の読み上げ内容が音声キャプションのウィンドウへリアルタイム表示されます。

Web クリエーターなど開発者が自身の **Web** ページや開発アプリのアクセシビリティ検証を目的とした支援機能です



音声キャプションの拡大率

音声キャプションの文字拡大率を選択します。

音声キャプションの表示色

音声キャプションの表示色を選択します。

音声キャプションの透明度

音声キャプションの透明度を **0%** から **90%** の中から選択します。

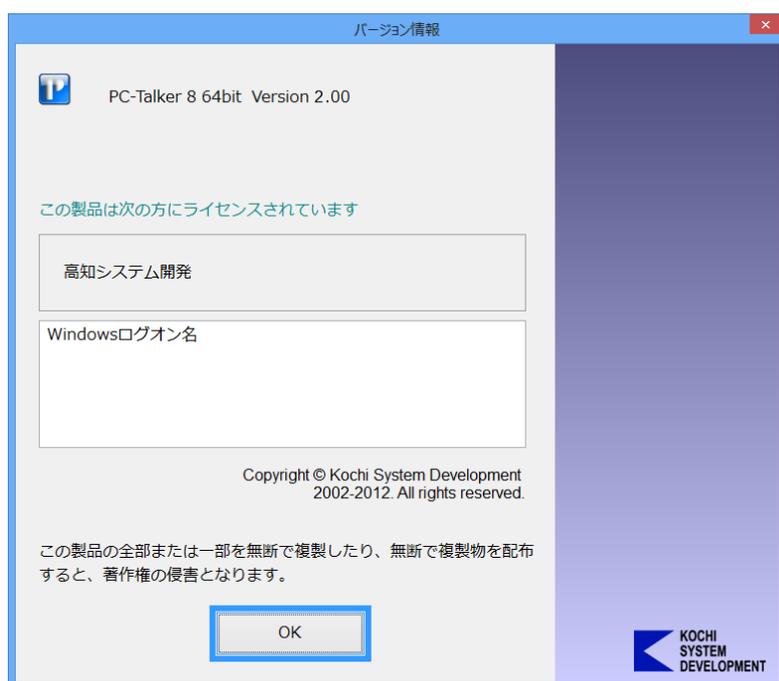
補足： 音声キャプションのウィンドウサイズ、位置やサイズを変更する。

音声キャプションのウィンドウは最前面に表示されますが、キー入力やマウス操作を受け付けられないため、その下に重なり合うアプリケーションのボタンなどはマウスクリックできるようになっています。

音声キャプションのウィンドウサイズを変更したり、ウィンドウの位置を移動するには、音声キャプションウィンドウの右上隅に表示されているマウスアイコンをクリックしてください。一時的に音声キャプションのウィンドウをマウス操作できるようになりますので、一般のウィンドウと同じようにマウスドラッグでサイズ変更したり、位置を移動できます。もう一度、マウスアイコンをクリックするとマウス操作はアプリケーション側に戻ります。



バージョン情報



バージョン情報を表示します。

AOKMenu

AOKMenuについて説明します。

AOKMenuは、当社製品(MYWORD V Pro等)を、簡単に起動するためのメニューです。

この、メニューから Windows を終了することもできます。

起動方法

AOKMenuの起動はショートカットキーでおこないます。

初期値は、**F12** キーで起動します。

AOKMenu



↓ **↑** キーでアプリケーションを選択し、**↵** キーで決定し実行します。

TAB キーで、現在使用しているアプリケーションの切り替え、メニューになります。

トップメニュー



トップメニューを選択します。**Alt** キーで表示します。

↓ **↑** キーで選択し、**↵** キーで決定し実行します。

移動(M)

AOKMenuの表示位置をカーソルキーで移動します。

サイズ変更(S)

AOKMenuの表示サイズを変更します。

最小化(N)

AOKMenuを、最小化します。

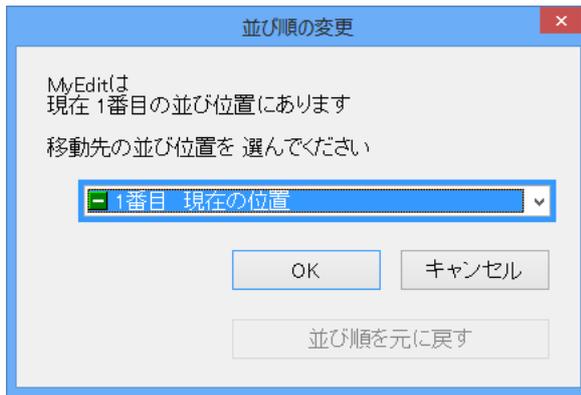
最大化(X)

AOKMenuを、画面全体に表示します。

閉じる(C)

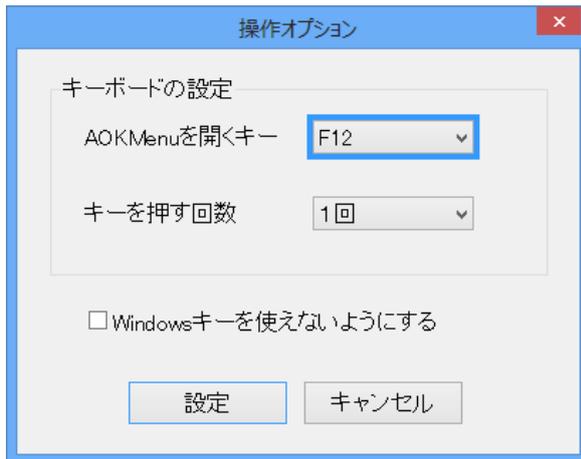
AOKMenuのウィンドウを閉じます。

並び順の変更 F2



AOKMenu の、項目の並び替えを行います。

操作オプション F3



キーボードの設定

AOKMenu を開く、キーを設定します。

初期値は、**F12** を1回押すと開きます。

設定可能なキーは、

F12

Print Screen

Scroll Lock

Pause

Ctrl

Shift

キーを押す回数は、1回から3回の間で設定

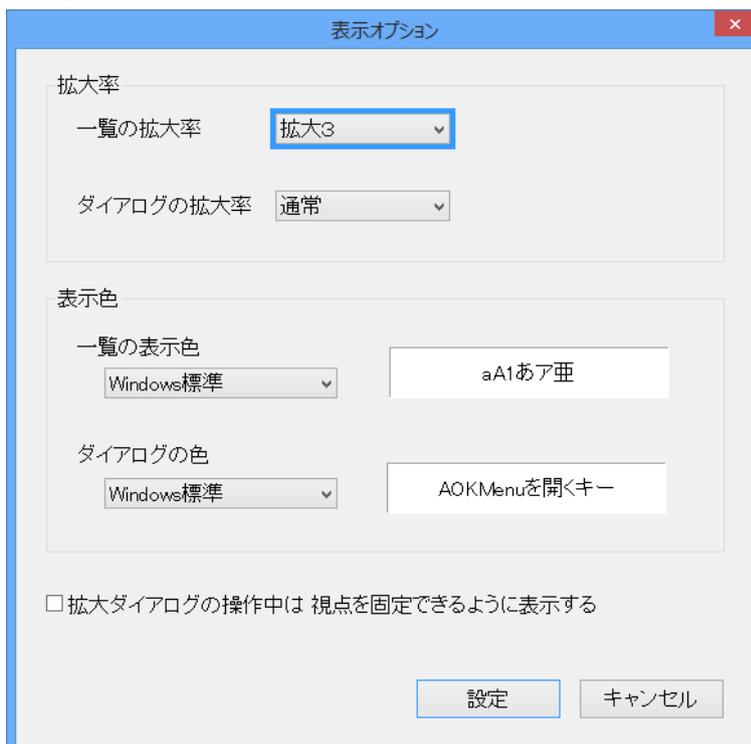
Windows キーを使用しない(W)

キーボードの Windows キーを使用しないように設定します。

キーを押して Windows のスタートメニューを出さないようにする設定です。

この設定を行うと誤って Windows キーに触れてもスタートメニューが表示されることがありません。

表示オプション F4



一覧の拡大率

AOKMenu の拡大率を通常、拡大1から
拡大7までで設定します。

F6 で、拡大できます。

ダイアログの拡大率

設定ダイアログの拡大率を通常、拡大1、
拡大2で設定します。

一覧の表示色

一覧の表示色の設定を、行います。

ダイアログの色

ダイアログの表示色を、設定します。

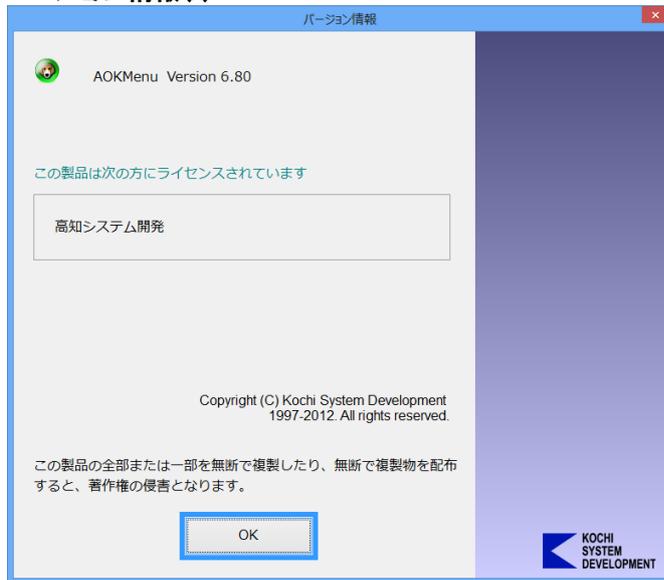
拡大ダイアログの操作中は、始点を固定で
できるように表示する

チェックを付けると有効になります。

オンラインマニュアル F1

AOKMenu オンラインマニュアルを、起動します。

バージョン情報(A)



AOKMenu のバージョン情報を読み上げます。読み上げ後、**[Enter]** キーで **AOKMenu** に戻ります。

AOK メニューの終了(X)

AOKMenu を終了します。

音声時計

音声時計は、PC-Talker が動作していることを前提とします。

PC-Talker が動作していないと、時刻の読み上げなどの機能は使用できません。

AOKMenu・アクセサリから音声時計は起動します。

Alt + **F4** で終了します。



時刻の読み上げ

F2 キーで、現在の時刻を読み上げます。

読み上げる時刻はボタンを押された瞬間の時刻です。

読み上げ例 『午後10時10分10秒』

日付の読み上げ

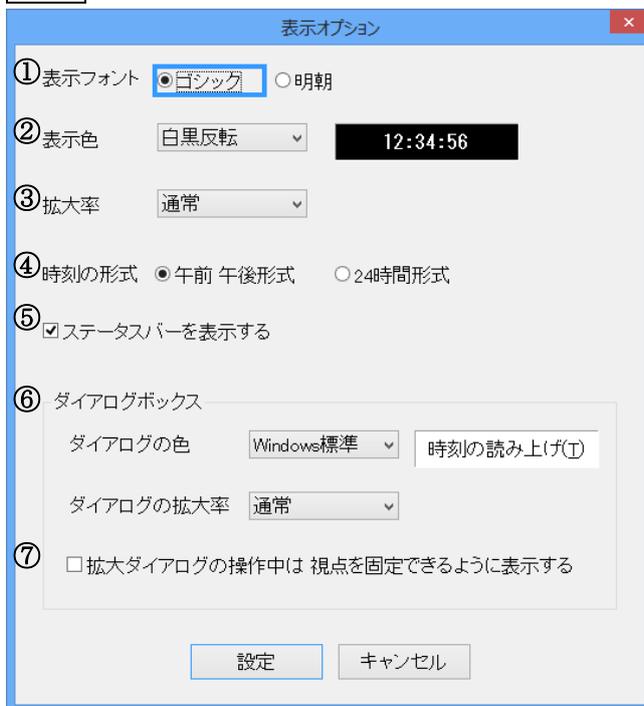
F3 キーで、現在の日付を読み上げます。

読み上げる日付はボタンを押された瞬間の日付です。

読み上げ例 『2013年6月11日 火曜日』

表示設定

F4 で、音声時計の表示設定を行います。



① 表示フォント

ゴシックか明朝に設定します。

② 表示色

表示色を設定します。

③ 拡大率

標準、拡大1～拡大7で設定します。

④ 時刻の形式

読み上げ形式午前午後形式か24時間形式かを設定します。

⑤ ステータスバーを表示する

ステータスバーの表示を設定します。

⑥ ダイアログボックス

ダイアログボックスの色と拡大率を設定します。

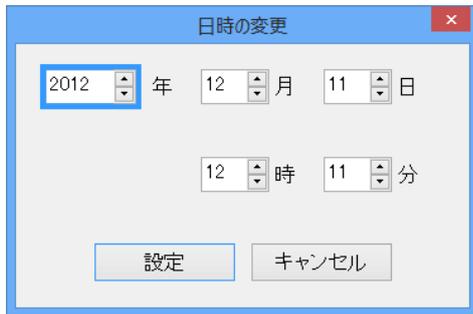
⑦ 拡大ダイアログの操作中は、始点を固定できるように表示する

チェックを付けると有効になります。

日時の変更

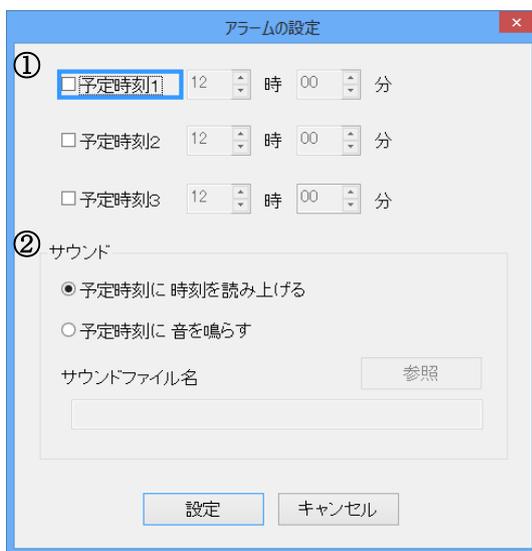
F5 で、時刻と日付を変更することができます。

音声時計は、Windows がシステム内部に持っている時計を参照するため、この設定が本来の日時とずれていると音声時計でも正確な日時を読み上げることができません。



アラームの設定

F6 で、アラームを設定できます。



① 予定時刻

アラームの予定時刻を設定します。予定時刻は、3つまで設定できます。

② サウンド

予定時刻に時刻を読み上げるか、音を鳴らすかを、設定します。

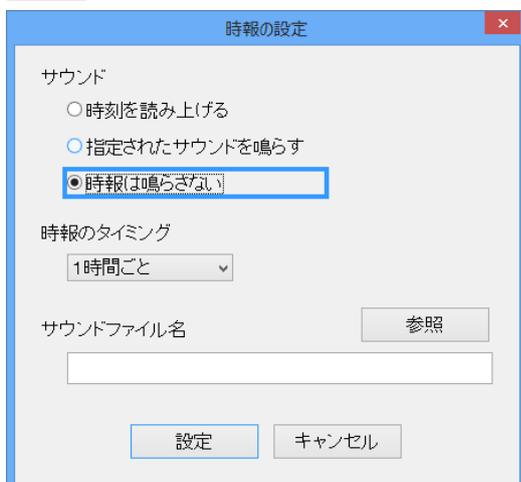
音を鳴らす場合は、**サウンドファイル***1を指定します。

アラームの確認

F7 キーで設定したアラームの時刻を確認します。

時報の設定

F8 で、時報を設定できます。



※日時の変更は、年は西暦4桁（1980年から2099年まで）で、時は、24時間形式で入力してください。

※音声時計は2013年6月11日現在の物です。将来予告なしに変更されることがあります。

※1：サウンドファイル 拡張子がWAVファイルです。（例：Windowsを起動したときの音など）

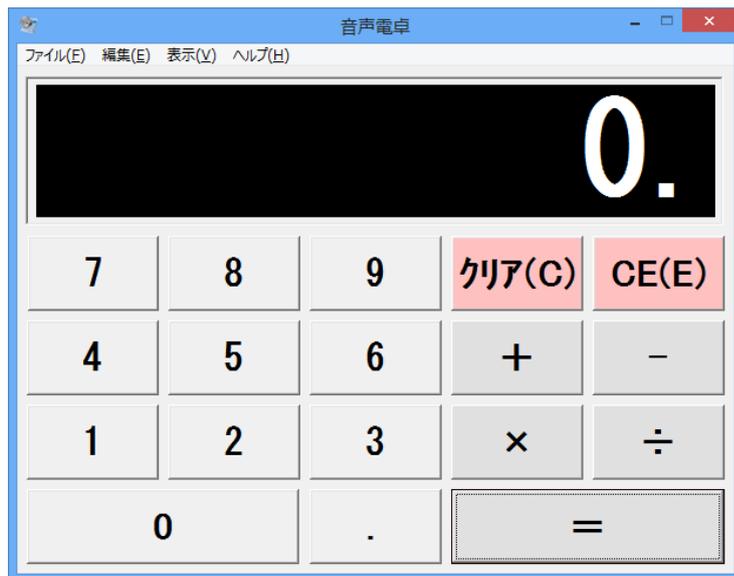
音声電卓

音声電卓は、PC-Talker が動作していることを前提とします。

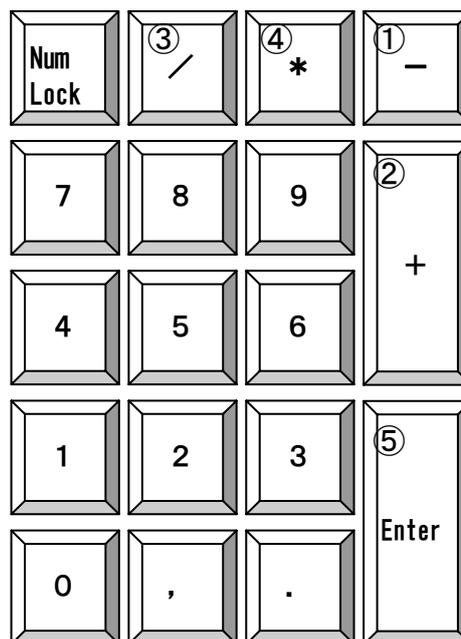
PC-Talker が動作していないと、使用できません。

AOKMenu・アクセサリから音声電卓は起動します。

テンキーを利用して電卓と同じように使用できます。



キーボード



- ① 「-」 マイナス
- ② 「+」 プラス
- ③ 「/」 割る
- ④ 「*」 掛ける
- ⑤ 「=」 イコール
- ⑥ フルキー「C」クリアー（電卓リセット）
- ⑦ フルキー「E」キャンセル（直前の数値クリアー）
- ⑧ フルキー「R」読み上げ

終了

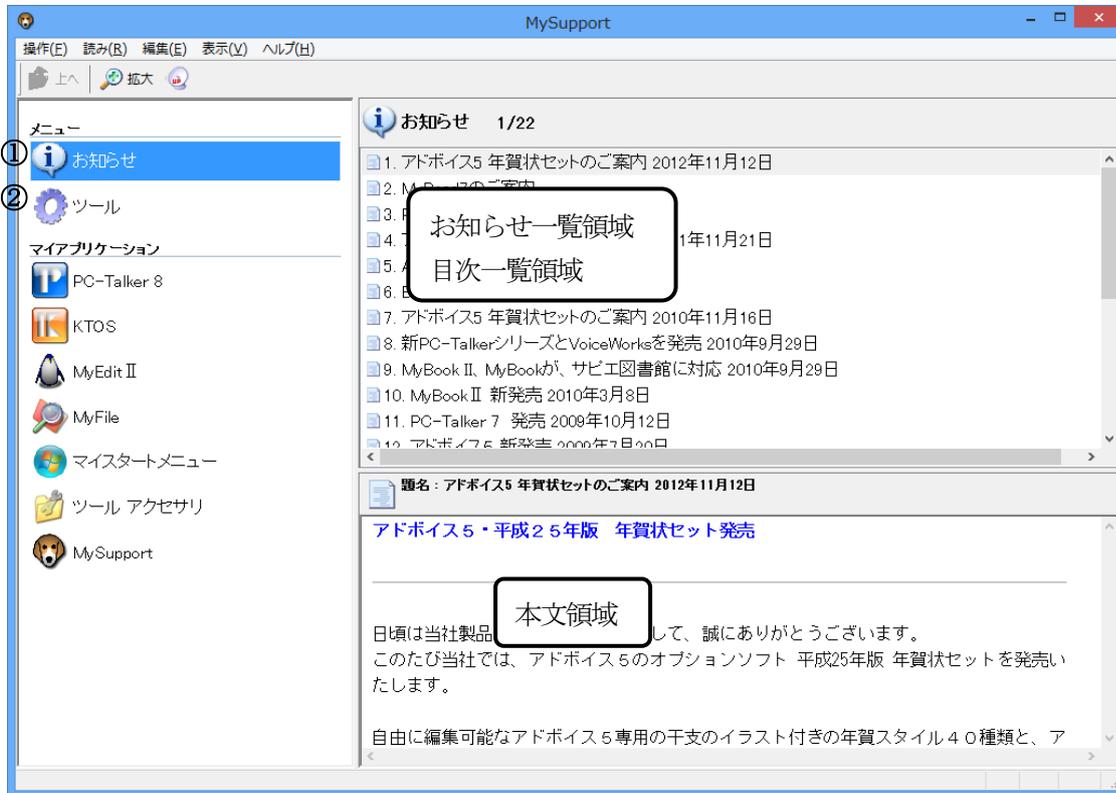
Alt + **F4** で

点字キーは、**321 456** め + **SP** で終了します。

※音声電卓は2013年6月11日現在の物です。将来予告なしに変更されることがあります。

MySupport

当社からのお知らせ、当社アプリの共通設定、オンラインマニュアルを確認します。

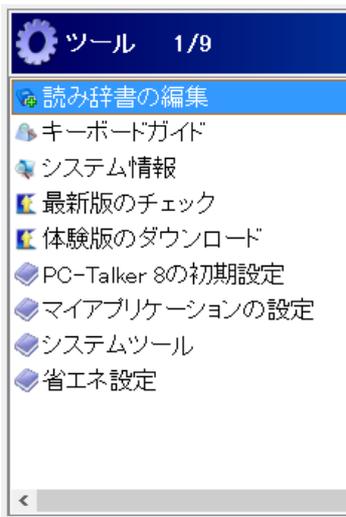


① お知らせ

最新のお知らせを確認します。

② ツール

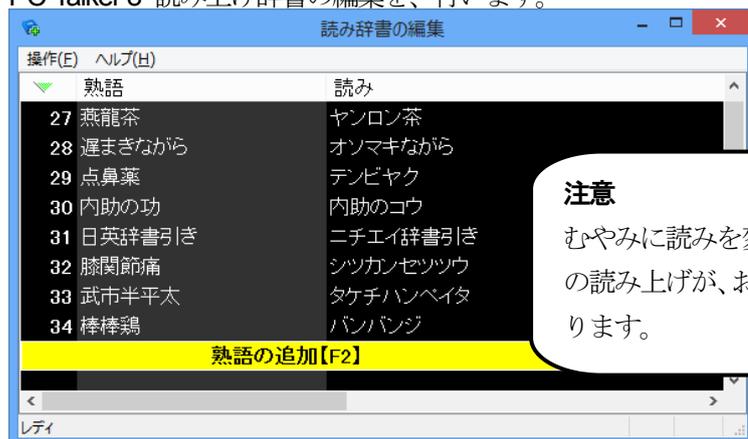
読み辞書の編集などを実行します



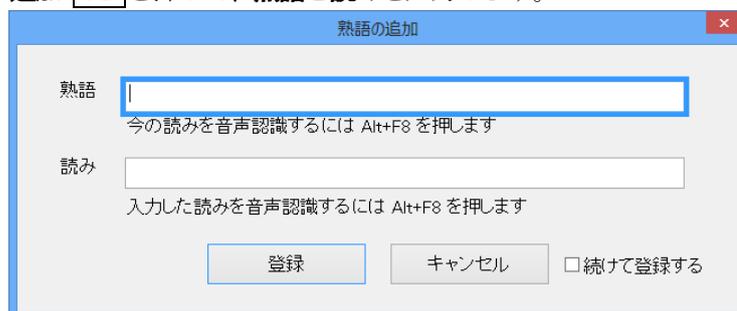
※MySupport は2013年6月11日現在の物です。将来予告なしに変更されることがあります。

1. 読み辞書の編集 ※1

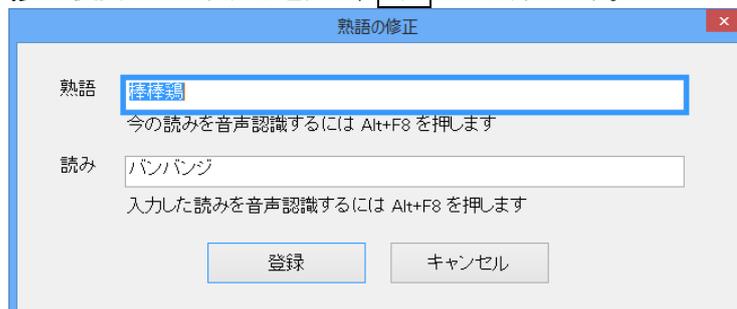
PC-Talker 8 読み上げ辞書の編集を、行います。



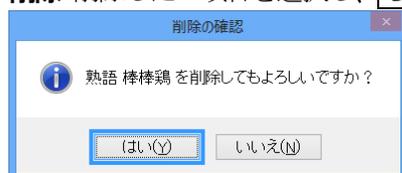
追加 **F2** を押して、**熟語**と**読み**を入力します。



修正 変更したい項目を選択し、**↵** キーを押します。



削除 削除したい項目を選択し、**Delete** を押します。



2. キーボードガイド

キーボードの配置を、調べます。

3. システム情報

現在のパソコン情報 (CPU、メモリサイズなど) を調べます。

4. 最新版のチェック

当社インストールアプリの、最新版にアップデートできる物がないか、確認します。

5. 体験版のダウンロード

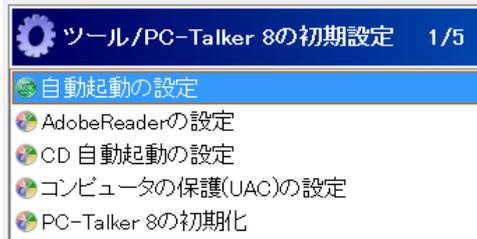
当社インストールアプリ以外のアプリを、30 日間体験できる物の一覧が表示されます。

※注意：インストール後 30 日間なので、使用しなくても 30 日で、ご使用できなくなります。

※1 読み辞書の編集は 2013 年 6 月 11 日現在の物です。将来予告なしに変更されることがあります。
読み辞書の編集は、拡大機能、背景色の変更はできません。

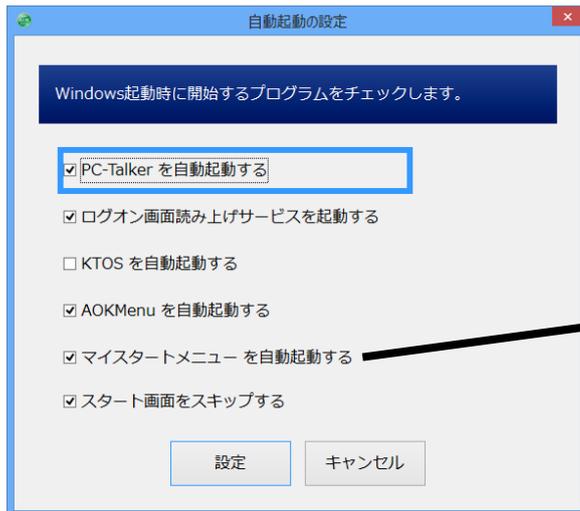
6. PC-Talker の初期設定

PC-Talker の動作環境を設定します。



自動起動の設定

Windows 起動時の動作を設定します。



デスクトップに、マイスタートボタンを追加
Windows キーで、マイスタートメニューを表示
※ PC-Talker 8 のみ



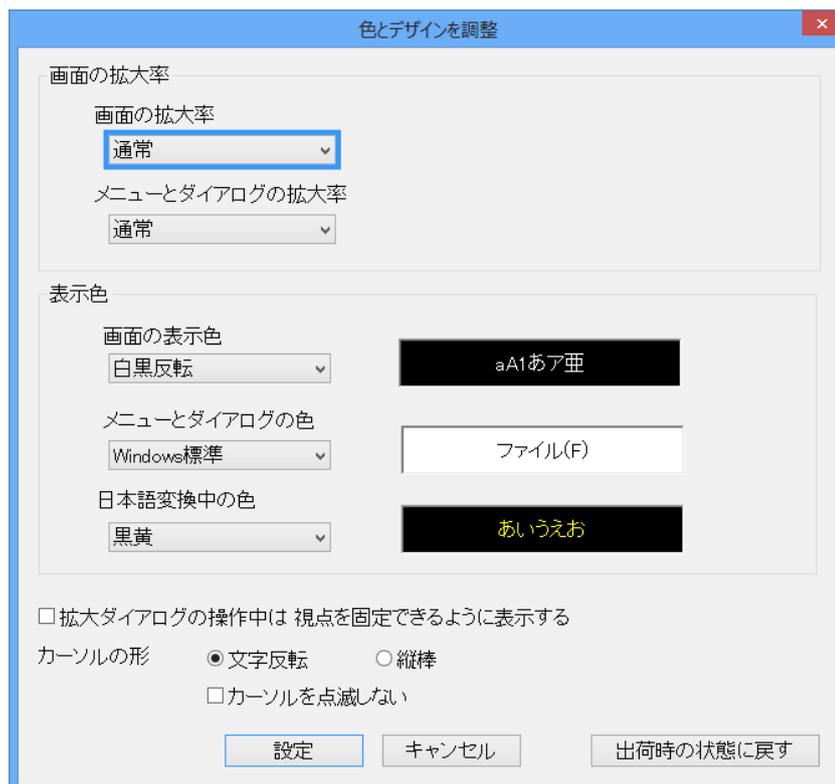
7. マイアプリケーションの設定

当社アプリの、共通設定を行います。

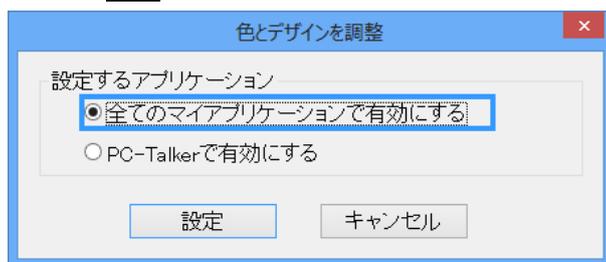
色とデザイン

当社アプリ全ての、画面拡大率や、表示色を、共通の設定にします。

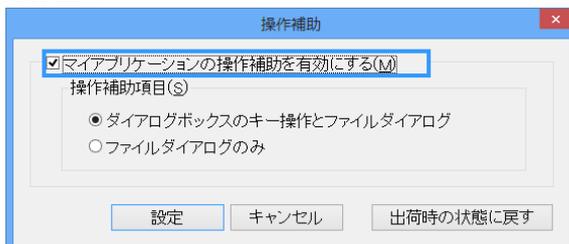
または、PC-Talker で有効にするか設定します。



設定で、後に、全体で有効にするか、PC-Talker で、有効にするか設定します。



操作補助



マイアプリケーションの操作補助を有効にする

Windows 標準キー操作を行うか、AOK キー操作を行うかを設定します。

ダイアログボックスのキー操作とファイルダイアログ

ダイアログボックスとファイルダイアログ^{※1}(MYEDIT II での「開く」の画面)を AOK キー操作と AOK ファイルダイアログを使う設定します。

ファイルダイアログのみ

キー操作は Windows 標準操作で、AOK ファイルダイアログ^{※1}のみを使う設定にします。

8. システムツール

「ディスク クリーンアップ」「ディスク デフラグ」「回線を切断する」「画面のハイコントラスト表示を切り替える」を、実行します。

ディスク クリーンアップ

一時ファイルやオフラインファイル等を削除して、ディスク容量を増やします。

ディスク デフラグ

ハードディスクをデフラグ (最適化) します。

パソコンを長く使用していると、ハードディスクに記録されたデータが断片化されてしまいます。

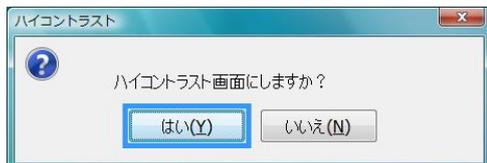
断片化すればするほど、アプリケーションの起動や、データへのアクセス速度が低下します。

回線の切断

アナログ接続の、電話回線接続を切断します。

画面のハイコントラスト表示を切り替える

Windows 画面を通常表示か、ハイコントラスト表示に設定します。



※1 当社製品に共通のダイアログです。キーボードで操作しやすくなっています。

PC-Talker コマンド一覧

PC-Talker のショートカット一覧です。

Windows キーの表記を、Win で表記しています。

フルキーショートカットコマンド

ウインドウ画面をガイドする操作

ウインドウ名読み	Ctrl+Alt+1	Ctrl+Alt+テンキー1
タスク一覧	Ctrl+Alt+2	Ctrl+Alt+テンキー2
タスク数読み	Ctrl+Alt+B	
ステータスバー読み	Ctrl+Alt+3	Ctrl+Alt+テンキー3
メニューバー読み	Ctrl+Alt+4	Ctrl+Alt+テンキー4
タスク名読み	Ctrl+Alt+5	
ツールバー読み	Ctrl+Alt+6	Ctrl+Alt+テンキー6
ウインドウの仮想カーソル操作	Ctrl+Alt+矢印キー	
ウインドウ全文読み	Ctrl+Alt+Z Ctrl+Alt+. (ピリオド)	
音声ログの読み上げ	Ctrl+Alt+PageUp (過去のログへ) Ctrl+Alt+PageDown (戻る)	
情報読み	Ctrl+Alt+G	
音声をクリップボードへコピー	Ctrl+Alt+S	
再読み	Ctrl+Alt+R	

入力中の操作コマンド (エディットコントロール)

1行読み	Ctrl+Alt+J	Ctrl+Alt+テンキー0
行頭からカーソル手前読み	Ctrl+Alt+H	
カーソルから行末読み	Ctrl+Alt+K	
カーソル位置読み	Ctrl+Alt+F9	Ctrl+Alt+, (コンマ)
コード読み	Ctrl+Alt+I	Ctrl+Alt+テンキー7
識別読み	Ctrl+Alt+M	Ctrl+Alt+テンキー5
点文字号読み	Ctrl+Alt+F	
入力キーの読み上げ設定	Ctrl+Alt+¥	
クリップボードの自動読み 切り替え	Ctrl+Alt+X	
クリップボード全文読み	Ctrl+Alt+C	
カーソル位置から全文読み	Ctrl+Alt+F10	Ctrl+Alt+A

その他の音声ガイド

バージョン情報	Ctrl+Alt+9	Ctrl+Alt+テンキー9
キー入力状態	Ctrl+Alt+/(スラッシュ)	
時計読み	Ctrl+Alt+8	Ctrl+Alt+テンキー8
日付読み	Ctrl+Alt+Y	

ガイド音声の設定

カーソル文字の読み方 (設定)	Ctrl+Alt+F8	Ctrl+Alt+V
フォネティック読み (設定)	Ctrl+Alt+T	
日本語変換時の読み方 (設定)	Ctrl+Alt+P	

なめらか読みの設定

上下カーソル行読み (設定)	Ctrl+Alt+F6	Ctrl+Alt+L
数字位取り読み (設定)	Ctrl+Alt+0	
句点括弧読み (設定)	Ctrl+Alt+U	Ctrl+Alt+F5
改行の息継ぎ (設定)	Ctrl+Alt+:(コロン)	
記号読み (設定)	Ctrl+Alt+;(セミコロン)	
英語読み・翻訳読み (設定)	Ctrl+Alt+E	

カーソル文字の読み方設定

カーソル文字の読み方 切り替え	Ctrl+Alt+F8	Ctrl+Alt+V
フォネティック読み 切り替え	Ctrl+Alt+T	
上下カーソル移動時の1行読み	Ctrl+Alt+F6	Ctrl+Alt+L

直前の音声ガイドを再読み

再読み	Ctrl+Alt+R
クリップボードに直前の読み上げをコピー	Ctrl+Alt+S
前の音声ログ ^{※1} を読み上げ	Ctrl+Alt+PageUp
次の音声ログ ^{※1} を読み上げ	Ctrl+Alt+PageDown

※1 : PC-Talker は、過去に出力した音声ガイドを最大20個まで記憶しています。

これを音声ログと呼びます。

画面をOCR認識して読み上げ

フォーカスのある項目を画面OCR読み	Ctrl+Alt+Win+3
アクティブウィンドウ全体を画面OCR読み	Ctrl+Alt+Win+4

画面のスクリーンショット

アクティブウィンドウのスクリーンショット	Ctrl+Alt+Win+1
画面全体のスクリーンショット	Ctrl+Alt+Win+2

日本語変換

日本語変換時の読み方 (設定)	Ctrl+Alt+P
日本語入力ライン1行読み	Ctrl+Alt+J Ctrl+Alt+テンキー0
注目文節読み上げ (反転表示部分)	Ctrl+Alt+H
注目文節以降の読み上げ	Ctrl+Alt+K
日本語入力ライン1行 校正読み	Ctrl+Alt+Win+J Ctrl+Alt+Win+テンキー0
注目文節 校正読み	Ctrl+Alt+Win+H
注目文節以降 校正読み	Ctrl+Alt+Win+K
国語辞典の語釈読み機能を使用する場合	
国語辞典 語釈読み 先頭一致検索	Ctrl+Alt+H Alt+↓
国語辞典 語釈読み 完全一致検索	Ctrl+Alt+J Alt+↑

IME / ATOK の辞書ウィンドウの読み上げ

仮想カーソルの移動	
上の行へ移動	Ctrl+Alt+↑
下の行へ移動	Ctrl+Alt+↓
上端の行へ移動	Ctrl+Alt+Win+↑
下端の行へ移動	Ctrl+Alt+Win+↓
仮想カーソル上の行内の文字移動	
左の文字へ移動	Ctrl+Alt+←
右の文字へ移動	Ctrl+Alt+→
左端の文字へ移動	Ctrl+Alt+Win+←
右端の文字へ移動	Ctrl+Alt+Win+→

制御コマンド

PC-Talker 7 メニュー表示	Ctrl+Alt+F12
PC-Talker コマンドを1回スルー	Ctrl+Alt+Win+Z
音声の停止/再開	Ctrl+Alt+F2 Ctrl+Alt+N
PC-Talker 7 終了	Ctrl+Alt+F3
PC-Talker 7 再起動	Ctrl+Shift+F3 ※ショートカット
音声スピードを上げる	Ctrl+Alt+F7 Ctrl+Alt+Q
音声スピードを下げる	Ctrl+Alt+Win+F7 Ctrl+Alt+Win+Q
音声の音程を上げる	Ctrl+Alt+W
音声の音程を下げる	Ctrl+Alt+Win+W
音声出力ボリュームを上げる	Ctrl+Alt+^
音声出力ボリュームを下げる	Ctrl+Alt+Win+^
読み上げ音声中断	Shift または Escape
出力先を Windows 既定のデバイスに戻す	Ctrl+Alt+Win+F2
音声の種類を変更する メイン音声	
メイン音声の名前 前を選択	Ctrl+Alt+Win+R
メイン音声の名前 次を選択	Ctrl+Alt+Win+F
選択したメイン音声で決定	Ctrl+Alt+Win+C
音声の種類を変更する サブ音声	
サブ音声の名前 前を選択	Ctrl+Alt+Win+E
サブ音声の名前 次を選択	Ctrl+Alt+Win+D
選択したメイン音声で決定	Ctrl+Alt+Win+C
デスクトップを開く	Ctrl+Alt+Tab

読書音声に関するコマンド

読書音声のスピードを上げる	Ctrl+Alt+Win+6
読書音声のスピードを下げる	Ctrl+Alt+Win+Y
読書音声の音程を上げる	Ctrl+Alt+Win+7
読書音声の音程を下げる	Ctrl+Alt+Win+U
読書音声の種類 前を選択	Ctrl+Alt+Win+T
読書音声の種類 次を選択	Ctrl+Alt+Win+G
選択した読書音声で決定	Ctrl+Alt+Win+C

マウス操作

マウスカーソルの読み上げ 切り替え	Ctrl+Alt+_ (アダ -ライン)
マウスカーソル自動移動	Ctrl+Alt+[前のコントロール Ctrl+Alt+] 次のコントロール
マウスボタンのクリック	Ctrl+Alt+@ 左ボタン
マウスカーソル十字線の表示 切り替え	Ctrl+Alt+Win+_ (アダ -ライン)

ピンディスプレイ

ピンディスプレイ出力 ON/OFF	Ctrl+Alt+F4
-------------------	-------------

PC-Talker コマンドヘルプ

コマンドヘルプを開く	Ctrl+Alt+Win+F12
コマンドヘルプを閉じる	Escape
上の項目を選択	↑
下の項目を選択	↓
10 件単位で上の項目を選択	PageUp
10 件単位で下の項目を選択	PageDown
上端の項目を選択	Home
下端の項目を選択	End
次のサブメニューへ進む	→
前のメニューへ戻る	←
選択したコマンドの実行	Enter

Internet Explorer の操作・読み上げ

仮想カーソル位置からページの読み上げ	Shift
ページ先頭から全文読み	Ctrl+Alt+A Ctrl+Alt+F10
仮想カーソルを上への項目に移動して読み上げ	Ctrl+↑
仮想カーソルを下への項目に移動して読み上げ	Ctrl+↓
仮想カーソルを右に移動して読み上げ	Ctrl+→
仮想カーソルを左へ移動して読み上げ	Ctrl+←
仮想カーソルを 10 項目 上へ移動して読み上げ	Ctrl+PageUp
仮想カーソルを 10 項目 下へ移動して読み上げ	Ctrl+PageDown
仮想カーソルをページのトップへ移動	Ctrl+Home
仮想カーソルをページのラストへ移動	Ctrl+End
仮想カーソルの項目を、再度読み上げ	Ctrl+Enter
現在の仮想カーソル位置を項目の位置で読み上げ	Ctrl+Alt+F9 Ctrl+Alt+, (コンマ)
翻訳読み切り替え	Ctrl+Alt+E
仮想カーソル位置の文字を点文字読み	Ctrl+Alt+F
情報読み・Web コントロールはホームページとガイド	Ctrl+Alt+G
先頭から仮想カーソル項目手前読み	Ctrl+Alt+H
仮想カーソル位置の文字をコード読み	Ctrl+Alt+I Ctrl+Alt+テンキー7
仮想カーソル項目読み	Ctrl+Alt+J
仮想カーソル項目以降読み	Ctrl+Alt+K
リンクの URL を読み上げて、クリップボードにコピー	Ctrl+Alt+M
再読み・前回の音声再度読み上げ	Ctrl+Alt+R
ページの内容をすべてクリップボードにコピー	Ctrl+Alt+S
左の文字へ移動して文字選択	Ctrl+Shift+←
右の文字へ移動して文字選択	Ctrl+Shift+→

仮想カーソルのジャンプ	
次の未読リンクへ移動	U
前の未読リンクへ移動	Shift+U
次の既読リンクへ移動	V
前の既読リンクへ移動	Shift+V
次のリンク項目へ移動	Tab (Web コントロール標準)
前のリンク項目へ移動	Shift+Tab (Web コントロール標準)
次の見出し項目へ移動	H
前の見出し項目へ移動	Shift+H
次の見出し項目の特定レベルへ移動	1 から 6
前の見出し項目の特定レベルへ移動	Shift+1 から Shift+6
次の箇条書き項目へ移動	L
前の箇条書き項目へ移動	Shift+L
次のテーブル要素へ移動	T
前のテーブル要素へ移動	Shift+T
次のフォームコントロールへ移動	F
前のフォームコントロールへ移動	Shift+F
次のエディットボックスへ移動	E
前のエディットボックスへ移動	Shift+E
次のプッシュボタンへ移動	P
前のプッシュボタンへ移動	Shift+P
次のラジオボタンへ移動	R
前のラジオボタンへ移動	Shift+R
次のチェックボックスへ移動	X
前のチェックボックスへ移動	Shift+X
次のコンボボックスへ移動	C
前のコンボボックスへ移動	Shift+C
次のランドマークへ移動	M
前のランドマークへ移動	Shift+M

PDFファイルの読み上げ

前のページへ移動	←
次のページへ移動	→
最初のページへ移動	Home
最後のページへ移動	End
スクロールアップ	↑
スクロールダウン	↓
前の画面へ移動	PageUp
次の画面へ移動	PageDown
スクロール読み	上下矢印キー
仮想カーソル位置からページ読み	Shift
ページ先頭からページ読み	Ctrl+Alt+A Ctrl+Alt+F10
仮想カーソルを上項目へ移動	Ctrl+↑
仮想カーソルを下項目へ移動	Ctrl+↓
仮想カーソルをページの先頭項目へ移動	Ctrl+Home
仮想カーソルをページの最終項目へ移動	Ctrl+End
仮想カーソル上の項目内の文字	
左の文字へ移動	Ctrl+←
右の文字へ移動	Ctrl+→
ページ番号読み	Ctrl+Alt+F9 Ctrl+Alt+, (コンマ)
仮想カーソル位置の文字をコード読み	Ctrl+Alt+l Ctrl+Alt+テンキー7
仮想カーソル位置の文字を点字符号読み	Ctrl+Alt+F
仮想カーソルによる範囲選択	
左の文字へ移動して文字選択	Ctrl+Shift+←
右の文字へ移動して文字選択	Ctrl+Shift+→
仮想カーソル上の項目を再読み	Ctrl+Alt+R
ページの内容をクリップボードにコピー	Ctrl+Alt+S

コマンドプロンプトの読み上げコマンド

仮想カーソルの移動	
仮想カーソルを上への行へ移動	Ctrl+Alt+↑
仮想カーソルを下への行へ移動	Ctrl+Alt+↓
仮想カーソルを前のコマンドラインへ移動	Ctrl+Alt+Win+↑
仮想カーソルを次のコマンドラインへ移動	Ctrl+Alt+Win+↓
仮想カーソル上の行の文字移動	
左の文字へ移動	Ctrl+Alt+←
右の文字へ移動	Ctrl+Alt+→
左端の文字へ移動	Ctrl+Alt+Win+←
右端の文字へ移動	Ctrl+Alt+Win+→
仮想カーソル位置の読み上げ	Ctrl+Alt+F9 Ctrl+Alt+, (コンマ)
仮想カーソル位置の文字をコード読み	Ctrl+Alt+l Ctrl+Alt+テンキー7
仮想カーソル位置の文字を点字符号読み	Ctrl+Alt+F
仮想カーソル上の行を再読み	Ctrl+Alt+R

Windows ヘルプ (CHM 形式) の画面読み上げ

ヘルプ本文ウィンドウへフォーカス移動	Ctrl+Alt+Win+@
--------------------	----------------

テンキーコマンド

テンキーモードへの切替

テンキーモード・次に切り換え	Ctrl+Alt+Home
テンキーモード・戻る	Ctrl+Alt+End

クリップボード操作 (テンキーコマンド1)

[7] クリップボードカーソル 文字コード読み	[8] クリップボードカーソル ↑上移動	[9] クリップボード自動読み
[4] クリップボードカーソル ←左移動	[5] クリップボードカーソル 文字読み	[6] クリップボードカーソル 右移動→
[1]	[2] クリップボードカーソル 下移動↓	[3]
[0] クリップボード1行読み	[↵] クリップボード全文読み	

Ctrl+

[7]	[8] クリップボードカーソル ↑上はし	[9]
[4] クリップボードカーソル ←左はし	[5]	[6] クリップボードカーソル 右はし→
[1]	[2] クリップボードカーソル 下はし↓	[3]
[0]	[↵]	

Alt+

[7] タスク7	[8] タスク8	[9] タスク9
[4] タスク4	[5] タスク5	[6] タスク6
[1] タスク1 ※直前のタスク	[2] タスク2	[3] タスク3
[0] スタートメニュー	[↵] デスクトップ	

マウス操作（テンキーコマンド2）

[7] 左ボタンクリック	[8] ↑マウス上移動	[9] 右ボタンクリック
[4] ←マウス左移動	[5]	[6] マウス右移動→
[1] ウインドサイズ切換	[2] マウス下移動↓	[3]
[0] 次のコントロールへ移動		[↵] マウス位置読み上げ (全画面中)

Alt+

[7] 中央ボタンクリック	[8] ↑マウス高速上移動	[9] マウスホイール上
[4] ←マウス高速左移動	[5]	[6] マウス高速右移動→
[1]	[2] マウス高速下移動↓	[3] マウスホイール下
[0] 前のコントロールへ移動 ※または直前のコントロールに移動		[↵] マウス位置読み上げ (ウインドウ内)

Ctrl+

[7] 左上ブロックに移動	[8] 上ブロックに移動	[9] 右上ブロックに移動
[4] 左ブロックに移動	[5] 真ん中ブロックに移動	[6] 右ブロックに移動
[1] 左下ブロックに移動	[2] 下ブロックに移動	[3] 右下ブロックに移動
[0]		[↵] マウス位置読み上げ (ブロック単位)

補足説明（点字キー操作） ※KTOS（点字ドライバ）必須

PC-Talker 7 のメニュー

①②③+スペース

点字周辺キー

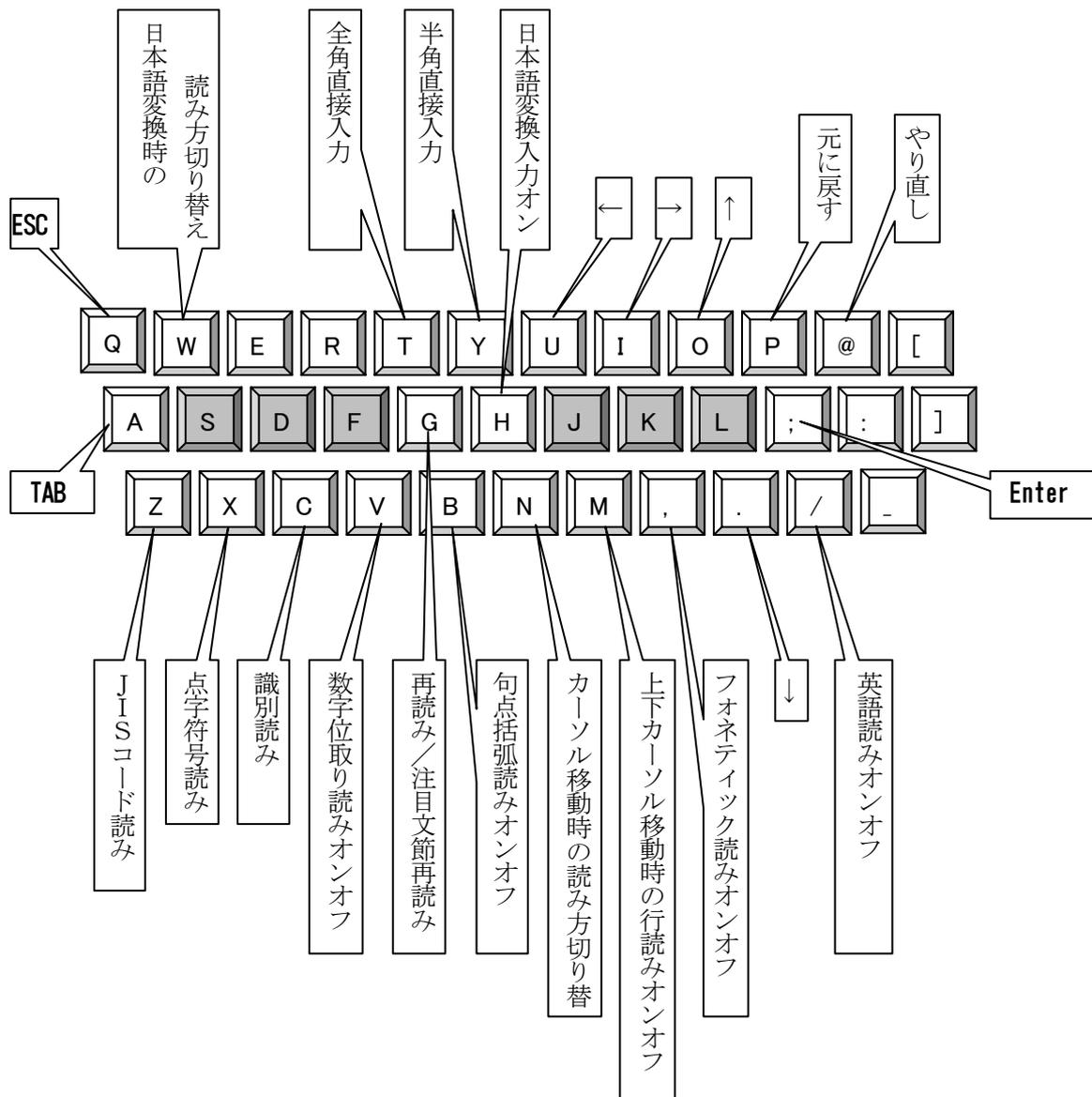
コマンド	F Jポジション	
JISコード読み	3の点の左下	Zっ
点文字号読み	2の点の左下	Xさ
識別読み	1の点の左下	Cそ
数字位取り読み (設定)	1の点の右下	Vひ
句点括弧読み (設定)	1の点の右下右	Bこ
カーソル移動時の読み方 (設定)	4の点の左下	Nみ
上下カーソル移動時の行読み (設定)	4の点の右下	Mも
フォネティック読み (設定)	5の点の右下	ゝる
英語読み・翻訳読み (設定)	6の点の右下右	ゝろ
再読み	1の点の右	Gき
日本語変換時の読み方 (設定)	3の点の上	Wて
全角直接入力に切り替え	1の点の右上	Tか
半角直接入力に切り替え	1の点の右上右	Yん
日本語変換入力に切り替え	4の点の左	Hら
元に戻す	6の点の右上	Pせ
やり直し	6の点の右上右	@

点字キーで代替入力可能なキー

(※詳しくはKTOSオンラインマニュアルをご覧ください。)

↵	①+λ [°] -λ
Enter	6の点の右
Back Space	④+λ [°] -λ
Delete	⑤+λ [°] -λ
Escape	⑥+λ [°] -λ
Insert	い+λ [°] -λ
Tab	3の点の左
Shift+Tab	Shift + 3の点の左
↑(上矢印キー)	②⑤+λ [°] -λ 6の点の上
↓(下上矢印キー)	③⑥+λ [°] -λ 6の点の右下
←(左矢印キー)	4の点の上
→(右矢印キー)	②+λ [°] -λ 5の点の上
Home	せ+無変換
End	ら+無変換
Page Down	ね+λ [°] -λ
Page Up	は+λ [°] -λ
Alt	⑥+無変換
Alt+F4	め+λ [°] -λ
日本語 ON	4の点の左

点字周辺キー



付 録

Windows 8 のショートカット一覧です。

機 能	Windows +
チャームを開く	C
デスクトップを表示	D
Windows エクスプローラーを開く	E
検索チャームの「ファイル」に移動 (+Ctrl で、ネットワーク上のコンピュータを検索)	F
デスクトップ ガジェットを順番に切り替え	G
共有チャーム	H
設定チャーム	I
スナップされたアプリと大きなアプリ間でフォーカスを切り替え	J
デバイスチャーム	K
ユーザーを切り替え (ドメイン上ではコンピュータをロック)	L
全てのウインドを最小化 (デスクトップ)	M
画面の向きをロック	O
プロジェクションオプション	P
検索チャーム	Q
ファイル名を指定して実行	R
タスクバーにフォーカスを設定し、実行中のデスクトップアプリを順番に切り替え	T
コンピュータの簡単操作センター	U
通知を順番に切り替え (+Shift で逆順に切り替え)	V
検索チャームの「設定」に移動	W
Power Users コマンドのクイックリンク	X
アプリを開く	Z
タスクバー上の特定位置のアプリに移動	1-9
拡大 (拡大鏡)	+
縮小 (拡大鏡)	-
デスクトップのプレビュー	, (コンマ)
Metro アプリを右にスナップ (+Shift で左にスナップ)	. (ピリオド)
ナレーターを起動 (+Alt で Windows Media Center を開く)	Enter
入力言語とキーボードレイアウトを切り替え	Space
Metro アプリの履歴を順番に切り替え	Tab
拡大鏡を終了	Esc
非アクティブなデスクトップウインドウを最小化	Home
スタート画面を左のモニタに移動	Page UP
スタート画面を右のモニタに移動	Page Dows
システムのプロパティー	Break

Screen Reader

PC-Talker

PC-Talker の開発にあたっては、たくさんの方にご意見とご協力いただきました。ここに厚くお礼を申し上げます。

- ・ 六点漢字は長谷川貞夫先生が考案された六点方式です。
- ・ 漢点字は、川上泰一先生が考案された八点方式です。
- ・ PC-Talker 8、PC-Talker 7、株式会社 高知システム開発の VDMW800、VDMW700 は、株式会社 アクセステクノロジーの Windows はマイクロソフト社の、商標または登録商標です。
- ・ PC-Talker 8、PC-Talker 7、PC-Talker Vista、PC-Talker XP は、(株) 高知システム開発の著作物であり、これにかかる著作権などの権利は、(株) 高知システム開発に帰属します。
- ・ マニュアルの一部または全部を無断で複写・複製することは固く禁じます。
- ・ マニュアルの内容は将来予告なしに変更することがあります。
- ・ キーボードの種類によっては点字入力ができない場合があります。
- ・ フルキー六点漢字入力は、星加恒夫氏が考案された入力方式です。
- ・ NEWBRL は、ニューブレイルシステムの商標または登録商標です。
- ・ その他の記載されている製品名は、弊社または各社の、商標または登録商標です。

Screen Reader PC-Talker

発行所 株式会社 高知システム開発

〒780-0048

高知県高知市吉田町2番23号

TEL (088)873-6500 FAX (088)873-6599

<http://www.aok-net.com/>

2013年6月11日 第1版 第1刷発行

PC-Talker をセットアップ前に、ご確認ください。

セットアップ前に必ずご確認ください。

以下の条件を満たしていないと、PC-Talker の機能を十分に使うことができません。

動作環境

ハード

CPU Pentium4 2GHz以上
(推奨 Core 2 Duo 以上)

ハードディスク 空き容量 3GB以上 (PC-Talker のみ)
(推奨 16GB以上)

メモリ 1GB以上のシステムメモリ (推奨 2GB以上)
Windows 8 64Bit 版、Windows 7 64Bit 版は、2GB以上 (推奨 4GB以上)

DVDドライブ インストール時に必要

WAVE 出力可能なサウンド機能 (Direct Sound 対応サウンドカード/内蔵サウンド機能搭載パソコン)

ソフト

PC-Talker 8 Windows 8 32bit/64bit
PC-Talker 7 Windows 7 32bit/64bit

※ Windows95、Windows98、Windows98Se、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista には、対応していません。

Internet Explorer Internet Explorer 10 以上
Acrobat Reader Adobe Reader X 以上

この仕様は、2013年6月11日現在のものです。技術改善等により、予告なしに変更する場合があります。

※PC-Talker 8、PC-Talker 7 は、(株) 高知システム開発の商標です。

※Windows、Word、Excel、Internet Explorer は米国マイクロソフト社の登録商標です。

※Pentium、Core 2 Duo は、Intel Corporation の登録商標です。

※エクストラは、有限会社エクストラの製品です。

※IBUKI-TEN は、岐阜大学工学部応用情報学科池田研究室で開発された、自動点字翻訳システムです。

※Adobe Acrobat Reader は、アドビシステムズ株式会社の登録商標です。